学校番号	T3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「新編　論理国語」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、論理的な文章（説明的な文章）を読んだり、書いたりする活動を行います。
・文章を読むことと書くことはつながっています。文章を読み解くためのポイントを理解し、筆者が自分の主張や意見を読み手に伝えるために行った工夫（どのような方法や書き方で伝えようとしているのか）に気づき、書くときにも活用してほしいと思います。
・授業に出席し、授業内容を理解することが大切です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の内容

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	論理と出会う ［教材］ 「知の登山、知の水路」 「『論理的な人』とはどういう人か」 「『論理』への第一歩」 「『論理』とは何か」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	具体と抽象 ［教材］ 「ウサギの耳はなぜ長い？」 「記号的メディアと物理的メディア」 「具体と抽象を使いこなそう」 「さまざまな具体化」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	対比をとらえる ［教材］ 「対話の精神」 「デジタル地図から見える世界」 「対比を使って主張する」 「対比を使いこなす」	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	論理的に書く ［教材］ 「根拠をふまえて主張を書こう」 「構成を考えて書こう」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 b[書]：個々の文の表現の仕方を吟味するなど、文章を全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 c：個々の文の表現の仕方を吟味するなど、文章を全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	論理的に書く ［教材］ 「反論を想定して書こう」 「文章を磨き上げよう」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 b[書]：個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章を全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 c：個々の文の表現の仕方を吟味するなど、文章を全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ノート レポート

後期	主張をつかむ ［教材］ 「人工の自然―科学技術時代の今を生きるために」 「要約の方法」 「根拠のいろいろ」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	統計資料を活用する ［教材］ 「量の時代から質の時代へ」 「若者の『海外旅行離れ』は本当か？」 「統計資料を活用しよう」 「グラフの種類と特徴」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 b[読]：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈をすることができる。 c：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈をしようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	比べて読む ［教材］ 「紙の本はなくならない」 「比べて読もう」 「情報整理の方法」	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	レポートを書く ［教材］ 「テーマを決め、問いを立てよう」 「情報を収集しよう」	a：推論の仕方について理解を深め使うことができる。 b[書]：実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。 c：実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めるようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	レポートを書く ［教材］ 「情報を整理しよう」 「レポートをまとめよう」	a：情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うことができる。 b[書]：文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 c：文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。	ワークシート	ワークシート	レポート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　45　）時間